



草津東高等学校図書館  
本derful!委員 発行  
<2024. 2. 9>  
2月号 学校ホームページ版

話題の本、入ってます

1作目の『成瀬は天下を取りにいく』が  
10冠達成&本屋大賞2024ノミネート!  
10賞目は坪田譲治文学賞

大津の成瀬、ふたたび  
『成瀬は信じた道をいく』  
宮島未奈:著  
新潮社  
913.6

芥川賞  
『東京都同情塔』  
九段理江:著  
新潮社  
913.6

直木賞  
『八月の御所グラウンド』  
万城目学:著  
文藝春秋  
913.6

直木賞  
『ともぐい』  
河崎秋子:著  
新潮社  
913.6

主人公は獵師。  
ある熊を追うこ  
とに……。

受刑者を収容する  
新たな塔の建設。  
塔の名前について、  
建築家が思考する。

#京都  
#駅伝  
#草野球  
#青春小説

『バッタを倒しにアフリカへ』  
前野ウルト浩太郎:著  
光文社/光文社新書 S486.4  
<あらすじ>  
バッタの被害を食い止めるためにバッタに食  
べられたいという子供の頃からの夢を持つ作  
者が、バッタの群れと格闘しながらバッタに食  
べられることができるのかという話。  
<おすすめポイント>  
アフリカの生物や生活などに面白おかしく触  
れられて 作者によるコスプレにも必見!! バッ  
タの大群も見れるよ!! 作者のユーモアがとて  
も感じられる本。

『絶対絶命ゲーム  
1億円争奪サバイバル』  
藤ダリオ:著 913.6  
KADOKAWA/角川つばさ文庫  
<あらすじ>  
主人公の武藤春馬がわけあって親友の代わりに、勝ち  
残ると1億円、負ければ死ぬという命懸けの「絶体絶命ゲ  
ーム」というゲームに参加することになった。春馬はこのゲ  
ームで勝ち残れるのか!?  
<おすすめポイント>  
命懸けのゲームということでもいつもハラハラドキドキする  
展開でとてもおもしろいです。この本では命の大切さがよ  
く分かります。登場人物に滝沢未奈という女の子がいるの  
ですが、その未奈と春馬の関係がどのようになっていくの  
かも注目ポイントです。

ホンダフル  
本derful!委員のおすすめ本 ~1年4組、5組、6組担当~ \*裏面に続く

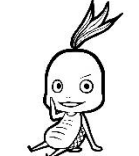
『キリン』  
山田悠介:著  
KADOKAWA 913.6  
<あらすじ>  
天才の遺伝子を受け継いだと言われていた天才  
兄弟の弟の麒麟は急に背中にシミが出来、勉強が  
出来なくなってしまい、母親から見捨てられてしま  
う。それでも家族のことが大好きな麒麟に立ちほだ  
かる運命とは。  
<おすすめポイント>  
麒麟は母親に暴力などをされ、ついには見捨て  
られたのに、それでも母親のことを憎まらずと家  
族のことを信じていて、人として学ぶことが多くあり  
ました。最後には驚く事実が判明し、つじつまが合  
っていくところがオススメです。

『モモ』  
ミハエル・エンデ:著 大島かおり:訳  
岩波書店/岩波少年文庫 943  
<あらすじ>  
現代社会の枠組みから外れた不思議な少女「モモ」が、時  
間泥棒に奪われた現代人の時間を取り戻す冒険ファンタジー。  
人間本来の生き方を忘れてしまっている現代人への警鐘という  
要素はもちろんのこと、モモと灰色の男たちとの手に汗握る攻  
防は、大人が読んでも十分に楽しめます。  
<おすすめポイント>  
ストーリーは結構暗めな反面、キャラや描写、設定は暖かく可  
愛らしい感じで、読んでいく内に話に引き込まれます。時間が  
なく忙しい人間を描いているところが現実味があって実際に時  
間どろぼうはいるのではないかと、思ってしまうし、今後時間の使  
い方についても考えてみようと思える話です。

新しく入った本や貸出状況もわかる

草津東高校蔵書検索サイト

タブレットホーム画面の  
ショートカット  
または「ぺえじ」配付版掲載の  
QRコードからアクセス



入試過去問題集も検索可能!  
検索画面で気になる大学名を  
入力してみてもいいかも

\*この図書館新聞掲載の本で現在、草津東高等学校に所蔵しているものには、請求記号も載せています。

『小説 君の名は。』

新海誠:著 B913.6シ  
KADOKAWA/角川文庫

<あらすじ>

東京で暮らす高校生の瀧と、小さな村で都会に憧れながら日々をすごしている三葉。そんなつながりのない2人がある日突然入れ替わってしまい、恋に落ちていく不思議な物語。

<おすすめポイント>

この話は映画を見て知った人が多いと思います。小説では映画とはまた違った楽しみ方があって、本を読むのが苦手な人にも読みやすいと思うのでおすすめです。

『ハヤブサ消防団』

池井戸潤:著  
集英社 913.6イ

<あらすじ>

ある時亡き父の故郷、八百万町ハヤブサ地区をふと訪れた主人公で小説家の三馬太郎は、ここに住みたいと思い移住を決意する。しばらくしてそこで太郎は消防団に勧誘され、不審な火事と事件、奇妙な宗教に出会う。

<おすすめポイント>

火事や事件、宗教とハヤブサ地区とのつながりが徐々に明らかになっていくところが面白いです。田舎や田園の景色や雰囲気、消防団の内側のこともミステリの合間から見ることができておすすめなので、是非読んでみてください。

新しく入った本より

内容/ジャンル	書名	著者	請求記号
部誌	デッサン 5 草津東高校 美術部誌第5号	草津東高校美術部	050-7
家族関係	毒親に育てられた私が母になる	つつみ	367.3-ツ
時事	朝日キーワード 2025	朝日新聞出版  編	813.7-7
小説	京大中年 ★	菅広文	913.6-ス
	夜明けのはざま ★	町田そのこ	913.6-マ
	シャーロック・ホームズの凱旋	森見登美彦	913.6-ト
小説 (文庫)	文豪ストレイドッグス 太宰を拾った日	朝霧カフカ	B-913.6-7
	86-エイティシックス- Ep.13 ディア・ハンター	安里アサト	B-913.6-7-13
	弱キャラ友崎くん Lv.11	屋久ユウキ	B-913.6-ヤ-11
絵本	大ピンチずかん 2	鈴木のりたけ  作	E-913.6-ス-2

★印の本はリクエストや資料相談から入りました。予約も随時受付中!お気軽に司書まで。

『黄色い家』川上未映子/『君が手にするはずだった黄金について』小川哲/『水車小屋のネネ』津村記久子/『スピノザの診察室』夏川草介/『存在のすべてを』塩田武士/『成瀬は天下を取りに行く』宮島未奈/『放課後ミステリクラブ 1 金魚の泳ぐプール事件』知念実希人/『星を編む』風良ゆう/『リカバリー・カバヒコ』青山美智子/『レーエンデ国物語』多崎礼/  
～全10作品、入荷予定～

本屋大賞  
2024  
ノミネート作

教職員「本読みトーク」Part 155

『手仕事の日本』

柳宗悦:著 永六輔:解説 小学館 750ヤ

「この本、先生気に入ると思うわ。」と3年程前、前任校で職員室の隣の席に座っていた先生からすすめられた一冊を今回紹介します。

内容は、筆者が実際に日本中を旅して全国にある当時(80年ほど前)の手仕事の素晴らしさを紹介、現在で言えば地域の特産品、民芸品などを北から順に説明しており、一種の旅行記のようなものになっています。読み進めていくと、たいへん古いためか正直紹介される品々がよくわからないもの、知らないものも多くありましたが、挿絵として多くの小間絵が紹介文とともにあるため、それが本文にも活かされ今の日本のモノづくりの良さを伝えている内容にもなっていて、そのことがより興味を持たせるものとなっています。

さて、この本を読み終えるとタイトルにある「手仕事」という言葉がたいへん心地よく美しい響きであると改めて感じられました。「仕事」というより「手仕事」と言った方がなんとなくひと手間加わった「よい仕事」という感じがしませんか。他にも、「作業」よりも「手作業」、「料理」よりも「手料理」など、「手」が加わるだけで丁寧さや温かみを感じられると思います。機械仕事だと「速さ」「便利さ」を求めるには適していますが、粗末なものになりがちかもしれないし、「個性」や「美的感覚」と言ったようなものはやはり「手」で生まれてくると感じられます。私は書道の教員をしていますが、文字ひとつとっても「手書き」のほうが味わい深いものになると思いますが、みなさんはどのように感じるでしょうか。デジタル文字だと、筆順や字形、筆圧、個性などは伝わらないですね。

筆者は本文の中で、「日本は素晴らしい手仕事の国である。元来我が国を「手の国」と呼んでもよいくらい、日本国民の手の器用さは誰でも気づくところである。…」と言っています。コンピュータやインターネットが現在の私たちの毎日の生活には欠かすことのできない世の中ではありますが、そのような中、逆に改めて「手仕事」のよさ、美しさを考えさせてくれる一冊になりました。